

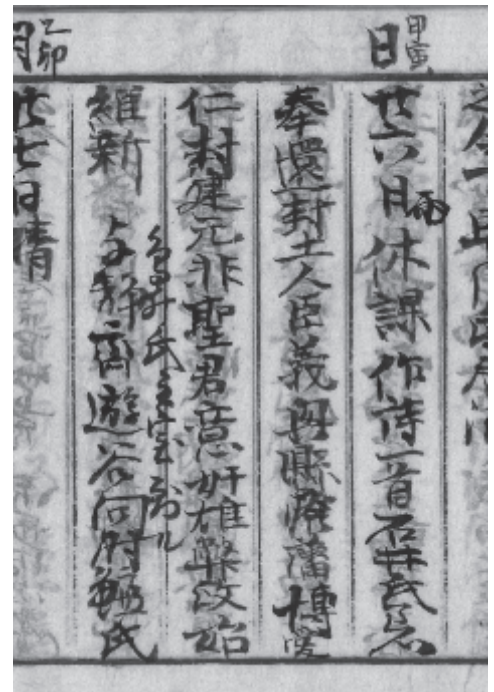
廃藩置県から150年 あのころの武士たちは どうなったの？

武士たちの明治

武士の居場所がなくなつた廃藩置県から150年。意外と素直に姿を消していった武士たちは、どのように生活を変え、明治という時代をどのようにに過ごしたのだろうか。専門外ながら、そんなことを考えた企画展を開催しました。

展示の導入は、館山市内にあつた2藩(館山藩と長尾藩)の幕末・維新期の動向を紹介する「I. 最後の武士たち」。続く「II. 廃藩と秩禄処分」で、武士としての特権を失い、収入を失っていく姿を、明治政府の政策の推移とともに、①版籍奉還で士族に ②廃藩置県で職を失う ③家禄奉還で起業資金 ④秩禄処分で強制退職 ⑤士族の結社の5節に分けて紹介。最後に「III. 士族の転身」で様々な職業に転身していく武士の姿を、①商工業に転身 ②農水産業に転身 ③行政・軍事に転身 ④教育界に転身 ⑤医療・宗教界に転身 ⑥学問・文芸に専念、に分けて紹介しました。

展示した資料の中には武士(士族)の日記があり、意外にもこの変化を素直に受け入れている姿が示されています。明治4年の廃藩のとき23歳の長尾藩士小川徳は、通達があつた日に「藩を廃し県となす」とのみ淡淡と記しますが、10日後の漢詩には「封土人臣を還し奉る義は、県を興し藩



▲小川徳「辛未年中行事」(明治4年日記)
小川日出美氏蔵

を廃する博愛の仁にして、封建は元より聖君の意に非ず、奸雄の弊政なるがゆえに維新を始む」と詠みました(写真参照)。旧来の幕藩政治を「奸雄の弊政」と否定し、天皇を中心とした維新に理解を示す思いが読み取れます。

徳は翌5年に士族に世襲される家禄の問題点を指摘する建白書を認めました。版籍奉還をしたのに知藩事が旧領を管轄し、あれから3年たつても士族の家禄が廃止されないのは遅すぎるといい、世間には英才がおり、農工商に功労ある者がいるのに、士族は座食の徒でしかないとして自らの立場を切り捨てています。富国富強のためには、無用の士族を廃して有用の兵士を兵団として置くことが必要であり、士族の家禄を廃止してこれに充てれば、学校を興して生徒を

ばよいというのです。

廃藩まで藩校日知館の助教を勤め、明治8年に小学校教員になった若い徳は、「先祖の功」にこだわらず、新しい国家に帰属する意識に変化していたのでしょうか。徳は生活のためI町歩の田地を購入して小作米収入を得ることで、結局座食に甘んじることになりましたが、商工業者が入ることになりましたが、商工業者の上策、農業者は中策、官吏は下策と考えていました。商工の知識がなく、農業の体力がなく、図らずも教員という官職に就く事になった自分は無策者だと卑下していますが、人に頼らず独立して、先々どのようなことがあつても家族のために生計を立てていくという主張もしています。徳は明治14年に若くして没しますが、2人の娘は明治30年代に日赤病院の看護師になっています。

養い、産業を興し、軍費を貯蓄し、窮民を救える。国家の財政を健全にすれば人材が輩出し、国威を海外に示すことができる。と主張します。士族の救済には3、4年分の給禄証券を与え

「健康地」ってなんだ？

収蔵資料展「健康地・房州」

新型コロナウイルスの猛威が世界中を襲った令和2年。博物館や美術館でも、過去の流行病とその影響の紹介や、アマビエのような病除けキャラクターの発掘など、「歴史から学ぶ」企画が多く見られました。そういった中、少し視点を変えて「健康」に注目したのが当館の収蔵資料展です。

明治～昭和初期の房州（安房）は、①空気を清浄にする松の木が多い、②海水浴に適した環境、③夏涼しく冬暖かい、④牛乳の生産量が多い、⑤新鮮な魚貝が手に入る、といった条件を満たしていることから「健康地」と呼

歴史を守り、伝えること

新・地区展

「館野―豊かな歴史を受け継ぐ地―」

市内10地区の歴史と文化財を紹介する「新・地区展」シリーズの第8弾として開催しました。昨年度は台風被災によって開催できなかったため、2年ぶりの地区展です。

館野地区には、安房国分寺跡・孝子塚・稲村城跡や霊巖上人開山の大巖院、万石騒動の三義民刑場跡など、有名な史跡が数多くあります。古



三義民刑場跡

代から近代に至るまでの通史が描けるほど、豊かな歴史があります。ばれていました。写真の資料は昭和初期に発行されたガイドブックで、表紙には「避暑避寒の理想郷」「夏涼冬暖の楽土」というキャッチコピーが踊っています。

明治以降、静養や病氣療養の地として人気を集めた房州には、現在もスポーツやヘルスツーリズムを目的に多くの人が訪れます。これまで以上に健康への関心が高まっている現在、「健康地」は再注目すべき房州の魅力ではないでしょうか？

る地区というのが最初の印象でした。地元の方にご協力をいただいて事前調査を進めるうち、この考えは少し変わっていきました。単に大きなできごとが起きたのではなく、それを後世へ伝える努力がなされてきたことが重要なのではないかと。どんなに大きな事件や偉人が存在しても、その証しが無ければ存在しないのと同じになってしまします。館野地区の皆さんがこれまで史跡・資料の保存や先人の顕彰、そして次の世代への継承に熱心に取り組んできたからこそ、現在の豊かな歴史があるのです。今回のサブタイトルにはこうした思いを込めてみました。

地区展の開催中、博物館では広瀬区と国分区が所蔵する古文書合計250点余りをお預りし、目録を作成しました。こうした地道な活動も「豊かな歴史」のためには必要不可欠です。



昭和初期のガイドブック



おうちミュージアムオープン!

令和2年春、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が長期休校となり、多くの博物館や図書館も休館となりました。突然のできごとにとまどったご家庭も多かったのではないのでしょうか。

そうしたなか、北海道博物館は自宅で過ごす子どもたちが退屈せずに楽しみながら学べるアイデアを紹介するプログラム「おうちミュージアム」を提唱し、現在も多くのミュージアムが参加しています。

当館でも休館中、市のサイト上にペー

ジを開設し、小さなお子さんから大人まで楽しめるぬり絵や、歴史や英語の学習にも役立つワークシートなどを掲載しました。開館再開後の現在も引き続き公開していますので、「おうち時間」の充実にお役立てください。

さらに、今年度の企画展では、感染防止策として展示解説会を中止した代わりに、解説動画を配信しています。実際の解説会と異なり、「いつでも、何度でも」見られるのが動画の良いところ！こちらぜひご利用ください。



「おうちミュージアム」はこちらから!

寄付資料一覧 —ご協力に感謝します—

寄贈資料名	寄贈者(敬称略)
斎藤光雲画スケッチブック 他	館山市 笹子三喜男
小島靖成作木彫像	南房総市 福原宣之
海軍士官軍帽・指揮刀	館山市 長井晃弘
行軍将棋・メンコ	館山市 加藤理雄
古文書・記念盃 他	南房総市 川名達也
安房高等女学校絵はがき 他	館山市 金木幹人
錦絵「八犬伝 犬の草紙の内」	館山市 古川昌夫
古文書・脇差・写真 他	東京都 松本綱久
ウキダマ	鴨川市 金高恵一
布マスク	館山市 工藤紗奈
餅のし板	館山市 岡崎藤栄
川名写真館ガラス乾板・写真 他	館山市 川名俊明
アセチレンランプ 他	館山市 井末正義
医学書・祈祷札 他	南房総市 代田健一
日本人形・うちわ	埼玉県 飯田一夫
皇太子館山行啓写真 他	個人
等覚院文書	埼玉県 庄司浩樹
聯・典籍・古文書	館山市 石井要郎
海軍ガスマスク・記念盃	館山市 岡野和夫
正木消防団・自警団関係用具	館山市 正木連合町内会
絵はがき・『せゝらき集』	南房総市 小宮寿夫
「畜産の房州」他	館山市 前田裕子
古文書	館山市 大野廣平
船形行商写真 他	館山市 白熊勝美
叩き鉦	館山市 鈴木正
市民運動場落成記念相撲写真	館山市 那古地区公民館
絵はがき・感謝状 他	館山市 青木悦子
店頭販売用金庫・火鉢 他	南房総市 庄司はる子
『安房震災誌』他	館山市 佐藤伸夫
演劇「ねお里見八犬伝」DVD 他	北海道 松本昇
戦時絵はがき・兵士写真	館山市 杉田園子
石井昭房作太刀・短刀	茨城県 梅澤一統

ピックアップ八犬伝

薬売りが配った浮世絵

『南総里見八犬伝』のうち、円塚山の場面を描いたこの浮世絵。絵や刷りが少し粗いと思いませんか？ これは「売薬版画」と呼ばれ、富山の薬売りが得意先を回る際、おまけとして配ったものです。薬売りのおまけというと、紙風船を思い出す方が多いかもしれませんが、昭和初期まではこうした浮世絵も配られていました。



売薬版画「円塚山の場」

無料で配る品のため、色数の少なさや紙質など通常の浮世絵に品質では劣りますが、薬売りによって全国に配られたことで、浮世絵の幅広い普及に役立った面もあります。特に多いのが役者絵で、歌舞伎の人気演目だった八犬伝も描かれました。

この絵では、八犬士の1人犬山道節に再会した異母妹の浜路が、宝刀村雨丸を託して亡くなる場面が描かれています。記された役者名から、道節役を明治期の名優として知られる9世市川団十郎、浜路役を名女方・5世尾上栄三郎(のちの6世梅幸)と判断すると、両者の活動時期が重なる明治24~36年(1891~1903)頃の作品と考えられます。

資料紹介 渡辺雲洋画「鏡ヶ浦図」

館山湾は別名鏡ヶ浦とも呼ばれます。西向きに開けた湾は右手北側に大房岬が延び、左手南側には洲崎が東京湾の入口へ向かって延びて行くので、両腕に包まれる形で円い湾を作り出します。館山湾は東京湾の内海なので、波は穏やかで鏡面のようにならなことから「鏡」に例えられ、鏡の別名「菱花」から菱華湾の名もあります。海に向かって正面には霊峰富士が聳え、その姿を館山湾の鏡に映し出すともいわれてきました。

江戸時代以来、鏡ヶ浦の姿は円い湾の正面に富士を描く類型が生まれ、様々な絵師が描いています。今年度入手したこの作品は、市内北条に住んでいた絵師渡辺雲洋が、嘉永7年(1854)に描いたもので、当時、海岸警備の任にあった備前岡山藩の筆頭家老伊木忠澄が、北条陣屋に赴任していた際に依頼したのだと伝わっています。絵の中でも北条陣屋が中心に描かれています。

雲洋については平成9年に当館の企画展で紹介したことがあります。雲洋がどの絵師に学んだのか不明でした。後に寄贈いただいた資料のなかにあった雲洋の追悼詩から、江戸の南画家の藤堂凌雲と春木南溟に師事したことが明らかになりました。まさに花鳥画を得意とした2人の画風を継いだ作品を残しています。資料を探し出して積み上げることが分かっていきます。



「鏡ヶ浦図」 渡辺雲洋画



博物館のできごと(ダイジェスト) 令和2年4月～3年2月

※2月29日～5月31日
新型コロナウイルス感染拡大
防止のため臨時休館。

- 令和2年4月
- 6日 緊急事態宣言発出を受け、渚の博物館臨時休館(～5月31日)。
- 17日 市WEBサイトに「おうちミュージアム」掲載開始。
- 19日 房日新聞「自宅できつくり考えよう! 古文書クイズにチャレンジ」の問題提供開始。
- ◆5月
- 1日 WEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」をサーバー変更に伴いリニューアル。
- ◆6月
- 1日 市立那古小学校で学芸員出前授業「館山の歴史」を実施。
- 1日 令和元年房総半島台風の体験文・写真募集を開始。締切までに25名・4団体から提供があり、一部を市WEBサイトに掲載。
- 2日 博物館本館・館山城の開館を再開。新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」開催(～7月26日)。
- 5日 本館新収蔵資料展を千葉テレビニュース取材。
- ◆7月
- 1日 川名写真館(市内館山)寄贈資

料約7千点の整理終了。
歴史教室「古文書を読んでみよう」開催(～令和3年2月、4クラス各8回)。

- ◆8月
- 1日 収蔵資料展「健康地・房州」開催(～10月4日)。
- 19日 文化庁文化審議会専門委員が重要有形民俗文化財「房総半島の漁撈用具」の保存状況調査のため来館(渚の博物館)。
- 27日 大学生による学芸員資格取得のための実習(～9月2日)。



大学生の学芸員実習

- 31日 館山城の常設展示を一部入替え。
- ◆9月
- 8日 千葉大学デザイン文化計画研究室制作の動画「地域の文化財とデザイン」を市公式YouTubeチャンネルに掲載。
- 11日 渚の博物館にてNHKBSPレミアム「釣りびと万歳」撮影。

16日 県立中央博物館大多喜城分館へ万祝関係資料貸出。

- ◆10月
- 13日 JSPS科研費「鎌倉期における金銅仏鑄造法の実証研究」チームへ那古寺銅造千手観音像レプリカ貸出。
- 14日 千葉市科学館へグリーンナー砲等貸出。

- ◆11月
- 14日 新・地区展「館野―豊かな歴史を受け継ぐ地―」開催(～12月27日)。

- ◆12月
- 6日 歴史教室「わたしの町の歴史探訪―稲―」開催。

- 7日 本館中庭に猪捕獲用ワナ設置。
- 18日 本館屋外展示場補修工事(～2月22日)。

22日 市立館野小学校4年生が新・地区展「館野」を見学。

28日 博物館大掃除。

◆令和3年1月

1日 館山城正月臨時開館(～3日)。

26日 渚の博物館にて千葉テレビ「ガレッジセール」のオリタラドコ旅」撮影。

27日 鴨川市郷土資料館へ富士講関係資料貸出。

◆2月

6日 企画展「武士たちの明治」開催(～3月21日)。

10日 博物館協議会(書面開催)。

16日 常設展示替え作業のため館山城を休館(～17日)。

たてはく 日々コラム ～館山市立博物館(たてはく)の日々のできごとを紹介します～ ホッとスポットをめざして

新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちの日常は一変しました。当館でも、例年であれば多くの来館者でにぎわうGW中も休館を余儀なくされ、職員一同、早く皆様にお会いしたいと思いながら日々の業務にあたっていました。

令和2年4月に発出された緊急事態宣言が解除され、6月から開館するにあたり、安心してご来館いただくため、博物館では手指のアルコール消毒や、感染が判明した場合にそなえて受付名簿への連絡先の記入などをお願いしています。ロッカーや触れる展示物の利

用中止など、ご不便をおかけしていますが、職員による展示室内の定期消毒、トイレ手洗いの自動水栓化など、安心してご来館いただける環境づくりに取り組んでいます。

不安な日々もあるかと思いますが、そんな時にホッとできるような博物館になれるよう、今後も感染症対策を実施していきますので、ご協力よろしくお願いたします。



感染症対策をお願いする表示